



写真左\_\_正賞の榮譽に輝いた「猪苗代のギャラリー」  
写真上\_\_受賞の報告に訪れた(右から)柴崎さん、浅井甚一郎さん、妻の紘子さん

## 「猪苗代のギャラリー」が正賞

### 第31回県建築文化賞

環境に調和し、景観上優れた建築物をたたえる第31回県建築文化賞で正賞を受賞した「猪苗代のギャラリー」の施主、浅井甚一郎さん(新町い)は1月30日、妻の紘子さん、設計者の柴崎恭秀会津大学短期大学部准教授と共に町役場を訪れ、町長に受賞を報告しました。「猪苗代のギャラリー」は、明治時代に建てられ、東日本大震災で半壊した蔵を再生させたもので、歴史的・技術的価値を生かしながら立て直した点が高く評価されたものです。

## 音楽を通じて復興を支援

### 猪苗代吹奏楽団が町に寄付

猪苗代吹奏楽団は1月30日、震災復興支援協力金として町に21,600円を寄付しました。この寄付金は、昨年12月13日に学びいなかで開かれた「いなわしろ音楽祭」の来場者から募ったもので、同楽団は、毎年チャリティーコンサートを開催し、町に寄付しています。

贈呈式は同日、町役場で行われ、齋藤直団長、阿部達也副団長と指揮者の渡部鶴雄さんが前後公町長に手渡しました。



前後町長に寄付金を手渡す齋藤団長(左から2人目)ら



露店で起き上がり小法師を選ぶ児童

## 縁起物などを求め長蛇の列

### 新春恒例の十三日市が開催される

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。オープニングセレモニーでは、神事、鏡開きや町芸能保存会による太鼓演奏の後、先着150人に福袋がプレゼントされました。通りには起き上がり小法師、風車やだるまなどの縁起物や飲食物の露店が並び、多くの買い物客でにぎわいました。小学校の児童や幼稚園児たちも先生らと一緒に訪れ、あめを買ったり、くじを引いたりして初市の雰囲気を楽しんでいました。

## 町の教育振興に役立てて

### 除夜の鐘つき実行委員会が町に寄付

除夜の鐘つき実行委員会は1月30日、教育振興事業協力金として町に10,608円を寄付しました。本町5区青年部の有志などでつくる同実行委員会は、昨年大みそかに亀ヶ城址の鐘つき堂で2年ぶりに除夜の鐘つきを実施。寄付金は、鐘つきに訪れた人たちから寄せられたものです。贈呈のため町役場を訪れた渡部大介実行委員長と長谷川裕希副委員長は「鐘つきが何十年と続いていくように、これからも頑張っていきたい」と話しました。



前後町長に寄付金を手渡す渡部実行委員長(中央)ら



写真上\_\_審査会のステージに上がり、司会者の質問に答える町商工会青年部の皆さん  
写真右\_\_福島県迎賓館が舞台のCM。お見合いする2人の会話に、町の特産品や名所などが登場。床の間には中ノ沢こけしが飾られていたり、あげまんじゅうがお茶うけになっていたりと、細かいところまでこだわっています



## CMで町の元気を発信

### ふくしまの元気！応援CM大賞2014

「KFB・東邦銀行ふくしまの元気！応援CM大賞2014」の公開審査会は昨年11月23日、郡山市の郡山女子大建学記念講堂で開かれました。

県内の38市町村から48作品が応募された本年度のCM大賞。本町からは、町商工会青年部の皆さんが制作したCMを応募しました。入賞こそありませんでしたが、町の元気や特産品などを大いにPRしました。

監督を務めた渡部敏弘さんは「残念ながら入賞することはできなかったが、みんなで力を合わせて作ることができてよかった」、吉野貴之部長は「たくさん的人がかかわったほうが楽しいし、いい作品ができると思う。今後も多くの人に経験してもらいたい」と話しました。

町のCMは、同局で今後10回放送されます。町ホームページでも見ることができますので、ぜひご覧ください。

## スキーを楽しみ、一生の思い出に

### 猪苗代スキークラブが避難児童にスキー用具貸与

猪苗代スキークラブは1月9日、町内に避難し小学校に通う児童らにアルペンスキーセット一式を貸し出しました。東日本大震災後、同クラブが毎年実施しているもので、今年は8人に貸与されました。貸与式では同クラブの五十嵐憲雄会長が「猪苗代でスキーを楽しみ、一生の思い出を作してほしい。そして、将来また猪苗代を訪れてもらいたい」とあいさつ。児童を代表して西山かやのさん(猪苗代小4年)がお礼を述べました。



貸与式に出席した皆さん

## 年頭に無火災・無災害願う

### 町消防団幹部らが出初め式を挙行

とし1年の無火災、無災害などを祈願する出初め式は1月6日、諏訪神社で行われ、町消防団幹部など約50人が出席し、玉串をささげて町民の安全を祈願しました。神事後、前後公町長が「町民の生命財産を守るという崇高な使命の下、消防団の一層の尽力を期待する」とあいさつ。五十嵐正義団長が「団員各位が職務を全うする自覚を新たにし、地区住民の安全を守るとともに、防火意識の高揚に努めてほしい」と団幹部らを鼓舞しました。



町民の安心、安全な暮らしを祈願しました





税金がなくなる  
と、自分たちの払  
うお金が増えるの  
で大変だと思いま  
した。

公園などにも税金  
が使われている  
ことがわかった。  
1億円は予想以上  
に重かったです。



左から高橋毅朗さん(翁島小  
6年)、川井源雄さん(同)

写真上 緑小で開か  
れた租税教室の様子  
(1月13日)  
写真右 1億円のレ  
プリカを持つ翁島小  
の児童。この日は授  
業参観で、レプリカ  
が登場すると、保護  
者も目を輝かせてい  
ました(昨年12月  
9日)



## 税金の大切さについて 理解を深める

町内の小学6年生を対象に租税教室

昨年11月からことしの1月にかけて、町内の小学6年生を対象に租税教室が開かれました。この教室は、税の大切さについて理解を深めてもらうため、会津若松税務署や町税務課などが毎年実施しているものです。

本年度の租税教室ではDVDを上映。児童たちが「税金は何のためにあるのか」「税金がなくなったら生活はどう変わるのか」などについて学びました。

講師は、児童1人が6年間教育を受けるのに約500万円掛かり、クラスの20人分だと約1億円もの税金が使われていると説明。最後には、講師が用意した1億円のレプリカを児童一人一人が交代で持ち、その厚みや重さを確かめました。

## 子どもたちに町のおいしい米を

学校給食に「いなわしろ天のつぶ」を導入

町内の各小、中学校では昨年12月から、町のブランド米「いなわしろ天のつぶ」を学校給食に導入しました。「天のつぶ」の普及を図るとともに、子どもたちに町の農産物に親しんでもらうため、週3回の米飯給食時に提供しています。12月19日、猪苗代小では、児童たちが友達との会話を楽しみながら、おいしそうにご飯を頬張っていました。1年生の小林久也さんは「給食で町のおいしい米が食べられてうれしい」と笑顔を見せました。



「いなわしろ天のつぶ」を頬張る猪苗代小の児童

## 貴重な文化財を火災から守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守り、後世に伝えるための文化財防火デー火災防御訓練は1月25日、土津神社で実施されました。訓練では、氏子による文化財搬出訓練、初期消火訓練、消防団員と消防署員による消火訓練が行われました。訓練終了後、前後公町長は「訓練の成果がいかんなく発揮され、有事の際の備えが万全であると感じた。これからの最も火災が発生しやすい時期なので、予防消防に尽力してもらいたい」と講評を述べました。



氏子による文化財搬出訓練の様子



猪苗代ふるさとかるたで町について楽しく学ぶ参加者

## さまざまな活動を通し交流深める

町内で高齢者サロン事業を展開

町では、平成25年度から高齢者サロン事業を実施しています。現在、町内には7つのサロンがあり、高齢者の皆さんが集会所などに集まってお茶を飲みながら歓談したり、運動したり、歌を歌ったりと、さまざまな活動を楽しんでいます。1月9日に町老人福祉センターで開かれた中ノ沢地区のサロン「湯の花十日会」では、鈴木清孝さん(西館)が猪苗代ふるさとかるたなどを使って町の歴史などを説明し、参加者たちが町について理解を深めました。

## 青少年教育などへの尽力たたえる

鬼多見賢さんに文部科学省社会教育功労者表彰

文部科学省の社会教育功労者表彰を受賞した鬼多見賢さん(三城潟)への表彰状伝達式は1月28日、国立磐梯青少年交流の家で行われ、小板橋昇所長が鬼多見さんに表彰状などを手渡ししました。この表彰は、長年にわたり同施設の教育事業に携わるなど、青少年教育などに寄与した功績が認められたものです。鬼多見さんは「今までご協力、ご指導いただいた皆さんの代表として頂いたもの。今後も社会教育に尽力していきたい」と話しました。



小板橋所長から表彰状の伝達を受けた鬼多見さん(左)

## 雪遊びなどで友情深める

翁島小と静岡県三島市の坂小が交流

静岡県三島市立坂小学校の児童は1月22、23の両日、本町を訪れ、翁島小学校の児童と交流しました。

本町と同市は、東日本大震災後の平成23年から交流を続けています。同市で開かれた伊豆マラソン大会に、物産展と観光PR活動を実施したのが始まりで、「風評被害解消の一助に」と本町にゆかりがある同市議会前議長の碓井氏の好意により実現したものです。

両市町による児童の交流は初めてで、今回は坂小の4～6年生48人と翁島小の4、5年生30人が、国立磐梯青少年交流の家で1泊2日を過ごしました。22日は同所で両校の児童が対面。自己紹介などを行った後、猪苗代スキー場で一緒にスキーを楽しみました。23日は翁島小の校庭で雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりして友情を深めました。

7月には、翁島小の児童が三島市を訪れ、坂小の児童と交流を深める予定になっています。



1



2



3

1,3\_雪だるまを作る坂小の児童。出来栄の良さにご満悦  
2\_スキーを体験する坂小の児童。まずは片足からスタート